

伊東市民病院で ございます。

Vol.17



管理者就任のご挨拶
新任のご挨拶



ご注意ください! 隠れ脱水



わたしたちの部署紹介
はたらく人紹介
地域医療連携室便り



病院理念：市民の生命と健康と生活を守り地域発展に寄与します



そもそも管理者とはどのような立場でしようか？

病院職員が安心して仕事をできる、そして職員一人一人がプロフェッショナルとして力を存分に発揮できる、そういった環境作りを第一に考える調整役、そして病院の抱える全ての課題・問題に責任をとる立場の人間だと思っています。

新管理者としての意気込みをお願いいたします。

淡々と肩の力を抜いて、できることを着実に一つ一つ達成してゆきたいと思っています。このコロナ禍を如何にきりぬけて、更に夢をもって将来の一步を踏み出せるように、同僚たちと楽しみながら取り組みたいと思います。

当病院のアピールポイントを教えてください。

市民の皆さんのニーズに答えるミッションが明確にされていることが強みです。即ち急性期診療、地域包括ケア、そして教育です。これら全てに取り組むのは結構な欲張りですが、充実したやりがいを感じます。更に職員皆がプロ意識、伊東愛に燃えていることを何より心強く感じています。

合言葉は「We can do it! We can do 伊東!!」です

逆に今後の課題や理想像はありますか？

現在、日本の地域医療が抱える共通の課題、即ち、人口減少、高齢化、医療資源確保に困窮する現状が伊東市と当病院の抱える大きな課題ですが、知恵を絞って乗り越えて前進しなければなりません。日本の中で、理想的な地域医療の在り方を示すモデルになれば、という大きな夢を持っています。

現在世界的な問題となっている新型コロナウイルスに対する病院としての対策を教えてください。

医学的には歴史上これまでにない脅威ですし、社会的にも大変な恐怖であります。病院としては今こそ毅然とした態度をとらなければなりません。医療人として、自ら率先して戦い挑んでゆく態度をお示しいたいいつも考えています。

川合先生のStay Homeな過ごし方はなんでしょうか？またはおすすめの過ごし方あれば教えてください。

皆さんと一緒に過ごします。家族と、仲間との時間を大事にする、楽しむことだと思います。このご時世の中で、遊び、楽しみに知恵を絞ってま

最後に地域の皆様にメッセージをお願いします。

未曾有の事態、このコロナ禍を地域の皆様と手を携えて打ち破る、そして夢と希望を抱いて新たな一步を踏み出す、病院職員一丸となって取り組んでゆきたいと念じています。「We Can Do it! We Can Do 伊東!!」が合言葉です。

新任のご挨拶

顧問 宇田 英典

本年7月から地域医療振興協会本部のシニアアドバイザーと当病院の顧問を兼務で拝命しています。伊東市民病院が中核的医療機関として役割を継続して果たしていけるよう、力を尽くしていきたいと思っています。

副病院長 天池 寿

7月1日付けで市立奈良病院より異動して参りました。昭和61年京都府立医大の卒業で、当病院外科の城野先生の1年後輩です。専門は消化器外科で、とくに胆石症やヘルニアなどの良性疾患はもちろん、胃がんや大腸がん悪性疾患に対する腹腔鏡手術も平成8年以降積極的に取り組み、『日本内視鏡外科学会の技術認定』を取得しております。前任地の市立奈良病院では、主に肝がん・膵がん・胆管がんなど肝胆膵外科の高度手術を担当してきましたが、今後は腹腔鏡を用いた低侵襲（体に優しい）外科治療を当病院で発展したいと思っています。地方の中小規模病院はスタッフの確保や急性期治療後のサポート体制などに課題を抱えますが、まずは伊豆の地域性や当病院の現状、システムに早く慣れて、皆様のお役に立てるよう心がけます。

ご注意ください!かくれ脱水

脱水とは、体から水分を失うことをいいます。この水分は体液と呼ばれ、水と塩分でできています。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響でマスクをする機会が増えています。

マスクをすると喉の渇きを感じにくく、脱水症になりやすいと言われています。

脱水症になりかけているのに本人や周りの人が気づかない状態を「かくれ脱水」といいます。

かくれ脱水に気が付かないまま脱水症にならないために、脱水のサインについて知り、予防をすることで脱水症を防ぎましょう。

脱水のサインチェック

- 手のひらが冷たい
- 舌が乾いている
- 「富士山チェック」つまんだ皮膚を離して2秒以上戻らない

これらの症状のどれかに当てはまったら脱水症かもしれません。



予防のポイント

規則正しい食生活を

水分は飲料水以外にも食べ物の水分や食べ物が体のエネルギーになってできる水分があります。食事はしっかりととりましょう。

そのほかに睡眠時間を十分にとる、規則正しい生活リズムをつくることも大切です。

水分をこまめにとりましょう

コップ1杯程度の水を1日の中でイラストのようにこまめに摂りましょう。



脱水予防Q & A

Q. 飲み物は何を飲めばいいですか?

A. アルコール以外であれば水分補給になります。お茶やコーヒーにはカフェインが含まれますが、日頃から飲み慣れた方であれば問題ありません。ジュースや炭酸飲料はカロリーが高いため摂りすぎに注意しましょう。かくれ脱水や脱水症のときには水分の吸収が早い経口補水液が効果的です。

Q. 脱水症予防のために日頃から塩分を補給した方がいいですか?

A. 脱水症予防のためにいつも以上に塩分を摂る必要はありません。少量の汗であれば塩分はそれほど失われないため、いつも通りの食事で十分です。大量の汗をかいた場合に水分と一緒に補給しましょう。

働く人紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師 佐藤 留美

6月1日に伊豆今井浜病院より転勤となり、在宅療養支援準備室にて褥瘡管理者として勤務しております。もう10年以上前になりますが、伊東市民病院には3か月ほど派遣でお世話になったことがあります。その時と比べて病院の建物、街並みなどは大きく変化していますが、スタッフや先生方の医療に向き合う姿勢に変わりがないことを日々感じております。

私が資格取得した当初は数が少なかった県東部地区の皮膚・排泄ケア認定看護師も、現在は20名以上が様々な場所で活躍しています。お互い連携を取り合い、県東部地区での勉強会などの企画・開催も毎年行っています。専門分野である褥瘡や創傷管理、人工肛門（ストーマ）、排泄ケアは院内だけでなく施設や在宅でもトラブルが起きやすく、ご本人やご家族、介護者、看護師も処置やケアに悩むことが多いと思います。そのような場合はぜひご相談いただき、看護ケアを通して少しでも地域住民の方のお役に立つことができればと思っております。



私たちの部署紹介〜手術室〜

手術室では毎月百件以上の手術を行っています。

手術適応の診療科は、外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、泌尿器科、整形外科、眼科、耳鼻科、麻酔科です。

手術室は、患者さんの安全を第一に考え、手術が円滑に進むようサポートする部署であり、高度な知識と技術が求められます。したがって、手術が無事に終了した時の達成感と患者さんからの笑顔と暖かい言葉は、私たちにとってかけがえのないものであり、大きな励みとなっています。

これからもチームワークを大切に、患者さんの安全を第一とした手術が円滑に行われるように努力していきます。



地域医療連携室便り

在宅療養後方支援病院

当病院では「在宅療養後方支援病院」として、在宅療養を担当されている「かかりつけ医」の先生方の負担を減らす為、あらかじめ届出をいただいた患者さん（緊急時に当病院での治療を希望されている患者さん）を24時間いつでも診療を行う態勢を整えております。令和2年9月時点で6医療機関、約270名の患者さんにご登録いただいております。

原則として入院が必要となった場合、当病院で入院治療を行います。当病院での入院が困難と判断した場合は、適切な医療機関を紹介させていただきます。

患者さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、「かかりつけ医」の先生方と密に連携し、医療の分野で地域に貢献してまいります。



伊東市民病院
Ito municipal hospital

〒414-0055 静岡県伊東市岡196-1

TEL:0557-37-2626

<http://www.ito-shimin-hp.jp/>

伊東市民病院